

練馬区民の死亡原因

<平成 24 年度版 ねりまの保健衛生より>

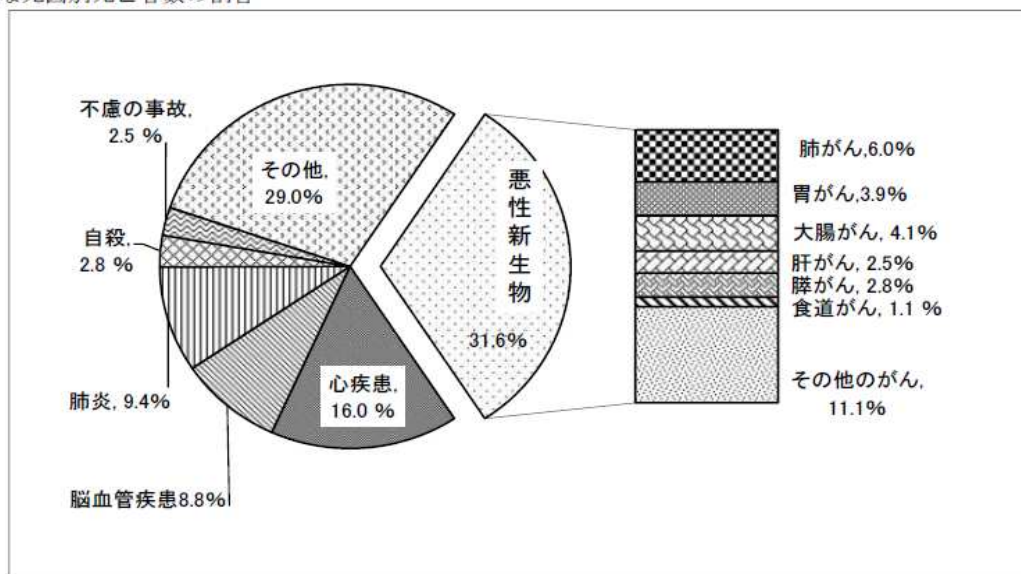
36 衛生教育・衛生統計

(6) 死 亡

平成23年の死亡数は5,334人で前年より115人増加した。
死亡率は昨年より0.2増加し、7.7(人口千対)となった。(P30)

主要死因別にみると、第1位は悪性新生物で1,685人、ついで心疾患852人、肺炎501人、脳血管疾患は469人である。

主な死因別死亡者数の割合



平成 23 年度末現在、練馬区民全体の死亡原因の上位は、

- 第 1 位 がん（悪性新生物）31.6%
- 第 2 位 心疾患 16.0%
- 第 3 位 肺炎 9.4%
- 第 4 位 脳血管疾患 8.8% となっている。

男女別に見ると、男性の練馬区民の死亡原因は、

- 第 1 位 がん（悪性新生物）33.9%
- 第 2 位 心疾患 14.5%
- 第 3 位 肺炎 10.2%
- 第 4 位 脳血管疾患 8.2% である。

また、女性の練馬区民の死亡原因は、

- 第 1 位 がん（悪性新生物）28.7%
- 第 2 位 心疾患 17.9%
- 第 3 位 脳血管疾患 9.5%
- 第 4 位 肺炎 8.4% である。